

Case 9

地域子ども達を対象とした自然体験活動の機会の提供

『森のようちえん』

生活共創学部 こども教育学科 / 現代生活学部 児童学科

町田キャンパスの四季を生かした自然体験活動を企画・運営

こども教育学科・児童学科では、町田キャンパスの豊かな自然環境を活かして、大学近隣地域に居住する子ども達を対象とした自然体験活動(森のようちえん)の企画運営を行っています。活動開始から12年目となる令和7年度も、年間を通じた活動を展開しました。

令和7年度「森のようちえん」実施概要

【日 程】年間を通じ月に1回、土・日曜日

【参加者】年少～小学校3年生 20名

【場 所】東京家政学院大学 町田キャンパス



学生主体での企画・運営



活動内容を企画し、当日の活動を主導するのは、「プログラムディレクター(PD)」と呼ばれる役割を担う担当者の学生です。PDは各回に一人ずつ、立候補制で決定しています。事前に教員と相談しながら、季節などをふまえて活動内容を企画し、準備を進め、活動当日は先頭に立って活動を運営します。主体的に「場」をつくる経験や、人の前に立って集団をリードする経験を通じて、保育者・教員としての能力だけでなく、社会で求められる汎用的能力を鍛えています。

地域子ども達・保護者・本学学生の交流の場

参加者の子ども達は5人ずつの班に分かれ、2～3名の学生とともに活動します。年間にわたって同じメンバーで継続的に活動を共にすることで、子ども同士、また学生と子どもとの間に、学校や年齢を超えた繋がりが生まれているように思います。また解散時には、担任の学生から保護者に対し、その日の活動の様子や、時には小さな怪我等の報告を行います。保護者との対話のなかで子どもを預かる責任感を感じるとともに、学生達にとって自身の取り組みが地域の子育て世代に喜ばれ、社会に貢献できているという実感を得ることに繋がっているように思います。

令和7年度の活動内容

第1回「タケノコ掘り！」(4月26日)

アイスブレイキングゲームで班ごとの交流を深めたのち、保護者も含めてキャンパス内の竹林に移動し、タケノコ掘りを体験した。

第2回「畑づくりとスラックライン！」(5月24日)

畑を耕して土づくりを行った。また、スラックライン体験を行った。

第3回「さつまいもの植えつけ&班のお友達と仲を深めよう！」(6月8日)

さつまいもの苗を畑に植え付けた。また、班ごとに自由遊びを行った。

第4回「夏だ！水だ！水遊びだ！」(7月27日)

プールや水鉄砲を使った水遊びを行った。

第5回「アイスクリームと水遊び！」(8月23日)

ビニール袋と氷を使ったアイスクリームづくりと、水遊びを行った。

第6回「はっばのおさを作ろう！」(9月6日)

お気に入りの葉っぱを拾い、紙粘土で型どりをしてお皿を作成した。

第7回「お泊りキャンプ！」(10月12-13日)

テント設営、野外炊事などのキャンプ生活を体験した。

第8回「番外編：子ども体験塾」(11月29日)

「たき火でおイモを焼こう！」の教室を開講した。

第9回「みんなで焼こう、おせんべい！」(12月27日)

おせんべいの素を作り、たき火で焼いて食べた。

第10回「ふゆのしぜんさがし」(1月31日)

クイズなどを楽しみながら、裏山を散策した。

第11回「バウムクーヘンを焼こう！」(2月14日)

たき火でバウムクーヘンを焼いて食べた。 ※3月：原稿作成時点で未実施



プロジェクト概要

- 担当教員
生活共創学部 こども教育学科
現代生活学部 児童学科
助教 佐藤 冬果
(その他 教学補助員 1名)
- 学生
生活共創学部 こども教育学科
1年生 10名
現代生活学部 児童学科
2年生 4名
3年生 6名
4年生 9名 計29名
うち各回、15名前後が参加
- 実施期間
令和7年4月～令和8年3月
(全12回)